

# 2021 オフィシャル ソフトボール ルール 改正点

P17 ルール1 用語の定義 正しい捕球 の 修正

1-44 項 リーガル コート ボール LEGAL CAUGHT BALL (正しい捕球)

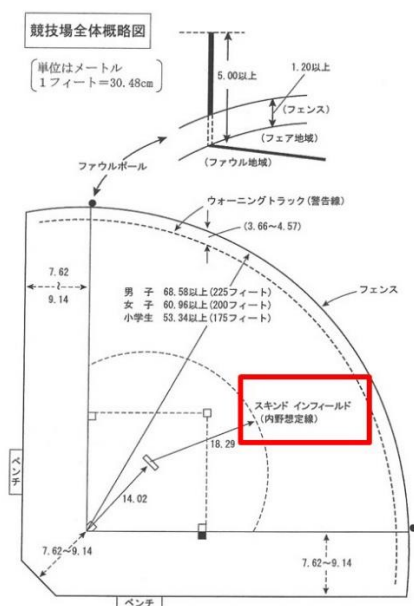
正しい捕球 の 打球・送球・投球 から **投球** を**削除**

正しい捕球とは、野手が**打球・送球**を手またはグラブ・ミットで確実に捕球することをいう。

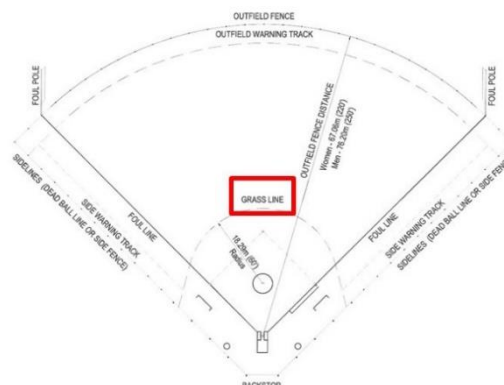
**【改正理由】** WBSC ルール (国際ルール) には『when a fielder catches a batted or thrown ball with their hands or glove』と記載されていることから、捕手の捕球とは切り離して記載すべきと考え、打球・送球・投球から **投球** を削除した。

P27 競技場の全体機略図 内野想定線の名称 (表記) 変更

競技場全体機略図の中の「スキンド インフィールド (内野想定線)」を「**グラスライン (内野想定線)**」に名称 (表記) を変更



APPENDIX 1: PLAYING FIELD AND DIAMOND LAYOUT  
A. OFFICIAL DIMENSIONS OF THE PLAYING FIELD



**【改正理由】** 上図のように WBSC ルール (国際ルール) では、すでに「**GRASS LINE**」に名称 (表記) が変更されていることから、それに合わせ変更を行う。

## P30 競技場 ダブルベースの【特例】

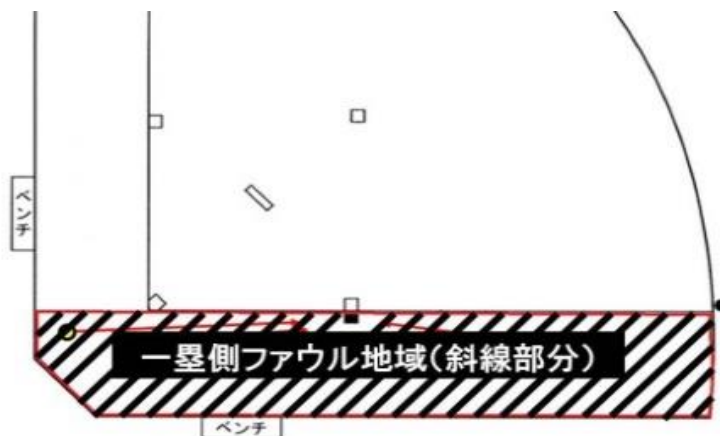
### ルール2 競技場

#### 2-4項4 **ダブルベースの【特例】にイラストを追加**

【特例】一塁側ファウル地域からプレイが行われたときは、打者走者・守備者ともに、オレンジベース・白色ベースのどちらを使用してもよい。また、守備者がオレンジベースを使用しているときは、打者走者はフェア地域を走ることができる。

**↑この【特例】にイラスト追加**

**【改正理由】上記【特例】の内容をより理解しやすくするため、P31の余白部分に下記イラストを追加する。**



## P62 スクイズプレイ、ホームスチールの際の打撃妨害

### ルール6 投球

#### 6-4項3 の条文表記を 8-4項7 (P90) の同様の条文と**表記を統一**する。

3. 三塁走者がスクイズプレイ**または**ホームスチールを試みたとき、捕手または他の野手**が**本塁を踏んだり、その前に立ったり、打者やバットに触れ、打撃を妨害してはならない。

**【改正理由】8-4項7 (P90) に同様の条文があり、文章表現や句読点の位置を修正した。ただし、ルール6では、基本的に「～ならない」という表現で統一されているため、文章表現を完全に同様にするのではなく、文末はそのまま、「～ならない」の表現を残した。**

P79 打者が打者走者になる場合（第3ストライクルール）

ルール8 走塁

8-1項2 に **(注)を新設**

2. 無死または一死で走者が一塁にいないとき、または二死のときは一塁に走者がいても、捕手が第3ストライクの投球を捕球できなかったとき。（第3ストライクルール）

**(注) 第3ストライクとなる投球がバウンドし、それを捕手が捕球した場合も第3ストライクルールの適用を受け、いわゆる「三振振り逃げ」の状態となる。**

**【改正理由】** WBSC ルール（国際ルール）には『before the ball touches the ground』と記載されていることから、**第3ストライクとなる投球がバウンドした投球であったときは、第3ストライクルールの適用を受ける**ことを明確にするため、(注)を新設し、ルールの条文として明文化した。

P81 フェアボールがフェア地域上の審判員あるいは走者の身体または衣服に触れたとき

ルール8 走塁

8-1項6〈効果〉6(2) に **審判員に触れた場合の処置・適用を追加し、整理**

(2) 投手を含む内野手に触れる前、投手を除く内野手を通過する前ならばボールデッドである。

**1) 審判員に当たった場合には、打者走者に一塁への安全進塁権が与えられ、他の走者は投球時に占めていた塁に戻らなければならない。（フォースの場合を除く）**

**2) 塁を離れている走者に当たったときは、その走者はアウトになり、打者走者に一塁への安全進塁権が与えられ、他の走者は投球時に占めていた塁に戻らなければならない。（フォースの場合を除く）**

**【改正理由】** 8-1項6は「フェアボールがフェア地域上の審判員あるいは走者の身体または衣服に触れたとき」という項目でありながら、**審判員に当たった場合の処置が明記されていなかったため、その際の処置・適用を明文化し、追加した。** また条文が長くなったため、(2)の適用を**1)の審判員に当たった場合と、2)の塁を離れている走者に当たった場合とに該当項目ごとに分け、記載した。**

P97 走者が離塁中、投手を含む内野手に触れる前か、または投手を除く他の内野手を通して  
する前のフェアボールにフェア地域で触れたとき

## ルール 8 走塁

8-6項9(注3)②の打者を **打者走者** に**修正**

②守備者が塁より後方で守備していたときはボールデッド。**打者走者**に一塁までの安全進塁  
権を与える。

**【改正理由】** 8-6項9〈効果〉9(3)で「**打者走者**」としているため、同項目の(注3)  
②の「打者」の表記を「**打者走者**」に**修正**し、表現の統一・整合性を図った。

## P109 球審の任務 没収試合

### ルール 10 審判員

10-2項6の没収試合を決定するを没収試合を**宣告**するに**修正**

6. 没収試合を**宣告**する。

**【改正理由】** WBSCルール(国際ルール)では「球審」の権限とされているが、**JSAにおい  
ては現状、大会競技委員長・審判長および担当審判員が協議の上、決定し、球審が宣告してい  
ることから、現状に即した内容に文章を修正した。**

## P117 要約 故意四球に関する投球数のカウント(記録)

### ルール 12 記録

12-3項(15)②をすでに**現行実施している内容に修正**

(15)② 各投手の投球数(故意四球**は通告時、実際に投球した数だけをカウントする**)。

**【改正理由】** 故意四球の投球数のカウントについては、昨年すでにWBSCルール(国際ルー  
ル)に合わせ、改正を行った(通告は投球とみなされ、四球を与えるのに必要な投球数がカウ  
ントされる→**通告時、すでに投球した数だけを投球数に加える**)が、この部分だけ修正漏れ  
があったので、今回現行実施している内容に合わせ、修正を行う。

# 2021「競技者必携修正点」

5. 審判委員会申し合わせ事項  
P37 5. プレイヤーと交代について

2020

(3)選手交代に関する通告 ア の文末に文章追加

5. 審判委員会申し合わせ事項  
P37 5. プレイヤーと交代について

2021

(3)選手交代に関する通告 ア の文末に下記太字部分の文章を追加する

ア. ~発表すればよい。

交代の通告は、先に交代して退く選手(OUT)から通告し、その後、交代して新たに入る選手(IN)を通告する。(ユニフォームナンバーを含む)

5. 審判委員会申し合わせ事項  
P37 5. プレイヤーと交代について

2020

(3)選手交代に関する通告 に ウ を新設

5. 審判委員会申し合わせ事項  
P37 5. プレイヤーと交代について

2021

(3)選手交代に関する通告 ア←追加部分を上記に記載。

イ←2020と変更なし

ウ 打順表の最終確認終了後であれば、プレイボール宣告前であっても、その交代は認められる。(この交代はスターティングプレイヤーの変更ではなく、通常の選手交代と同様に扱う。交代した選手が次に出場する場合には「再出場」となる)←太字部分を新設・追加

5. 審判委員会申し合わせ事項  
P44 9. 走塁について

2020

(7) の 文章内 6行目~7行目の文末を修正

(7) ~妨害を受けた走者がアウトになったときは、直ちにボールデットが宣告される。←太字部分を修正

5. 審判委員会申し合わせ事項  
P44 9. 走塁について

2021

(7) の 文章内 6行目~7行目の文末を修正

(7) ~妨害を受けた走者がアウトになったときは、プレイが一段落するまで見守り、一段落したらタイムをとる。

5. 審判委員会申し合わせ事項  
P46 11. その他

2020

(応援者を含む) を 削除

(9)投手が投球姿勢(セット)に入ったときは、両チーム(応援者を含む)は、応援のための声出しや鳴り物を使用してはならない。

5. 審判委員会申し合わせ事項  
P46 11. その他

2021

(応援者を含む) を 削除し、以下の文章とする

(9)投手が投球姿勢(セット)に入ったときは、両チームは、応援のための声出しや鳴り物を使用してはならない。

※要検討 理事会提出

6. 審判実務のために  
P52 4. 球審について

2020

(1) 球審の任務の キ を修正

6. 審判実務のために  
P52 4. 球審について

2021

(1) 球審の任務の キ を修正

キ. 球審は没収試合を決定する を 現行実施している内容に修正し、ルールブックとの整合性を図る。

キ. 没収試合の宣告

# 2021「競技者必携修正点」

6. 審判実務のために  
P55 4. 球審について  
(5) 球審の動きに  
(オ)を新設

2020

6. 審判実務のために  
P55 4. 球審について  
(5) 球審の動き (オ)を新設し、以下の文章を追加する  
(オ)二死走者三塁、打者が打ったとき、打球と本塁の触  
塁を確認するために(打者走者のスリーフットレイン違反  
の確認を含む)、フェア地域内に入らないで両方を確認で  
きる位置をとる。

2021

6. 審判実務のために  
P59 5. 塁審について  
(4) 塁審の位置と姿勢  
ア. 走者のいないとき の文末を修正

2020

6. 審判実務のために  
P59 5. 塁審について  
(4) 塁審の位置と姿勢  
ア. 走者のいないとき の文末を太字部分の内容に修  
正する  
  
塁から5.5m離れた位置に立ち、一塁塁審・三塁塁審  
はファウルラインから一足分外側に立つ。

2021

7. 審判員の基本動作  
P70 投球の宣告 ストライク  
コール・シグナル

2020

① の 右肘の角度に関する記述 を修正

7. 審判員の基本動作  
P70 投球の宣告 ストライク  
コール・シグナル

2021

① の 右肘の角度に関する記述 を太字部分の内容  
に修正

①“ストライク”とコールしながら立ち上がり、右手の肘  
を肩より少し上にあげてハンマーポジションを作る。こ  
のとき、肘に力が入らないようにする。

7. 審判員の基本動作  
P80 アウト  
コール・シグナル

2020

① の 右肘の角度に関する記述 を修正

7. 審判員の基本動作  
P80 アウト  
コール・シグナル

2021

① の 右肘の角度に関する記述 を太字部分の内容  
に修正

①“アウト”とコールし、左手を身体前面のベルトの上に  
当て、右手の肘を肩より少し上にあげてハンマーポジ  
ションを作る。このとき、肘に力が入らないようにする。

7. 審判員の基本動作  
P84 オブストラクション  
コール・シグナル

2020

プレイの成立後、状況により“タイム”のコールとゼス  
チュアをし、適切な処置をする。

の 文章を P72と同一の表記に統一する。

7. 審判員の基本動作  
P84 オブストラクション  
コール・シグナル

2021

P72と同一の表記に統一するため、太字部分を修正

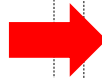
プレイの成立を確認の上、必要があれば“タイム”の  
コールとゼスチュアをし、正しい処置をする。

# 2021「競技者必携修正点」

基本動作の確認  
P90 2. ストライク  
コール・シグナル

2020

(3)(4)の文章を一つにまとめ、内容を修正  
(5)を(4)に項番を繰り上げる



基本動作の確認  
P90 2. ストライク  
コール・シグナル

2021

(3)(4)の文章を一つにまとめ、太字部分の内容を修正。(5)を(4)に項番を繰り上げる

(3)捕手が捕球したのを確認して、歯切れよく“ストライク”とコールしながら立ち上がると同時に、左手を身体前面のベルトの上に当てて、肘に力が入らないように右手の肘を肩より少し上にあげてハンマーポジションを作る。……2。

(4) 2020(5)の内容を繰り上げる。

8. 審判員の位置および動き(3人制)  
P97 3. 留意事項

2020

(4)の 文頭 塁審 → 一塁塁審 に 修正

(4) 塁審が～



8. 審判員の位置および動き(3人制)  
P97 3. 留意事項

2021

(4)の 文頭 塁審 → 一塁塁審 に 修正

(4) 一塁塁審が～